

四国中央市
ボランティア市民活動アンケート
(企業意識調査) 調査結果

平成30年2月

四国中央市 市民交流課

目 次

| | |
|--|----|
| 1. 調査概要 | 4 |
| (1) アンケートの実施方法 | 4 |
| (2) アンケートの有効数 | 4 |
| (3) 数値やグラフの見方 | 4 |
| 2. 調査結果 | 5 |
| 問1. 貴社の業種を教えてください。 | 5 |
| 問2. 貴社の従業員数を教えてください。 | 6 |
| 問3. 貴社はボランティア活動への参加や実施に関心がありますか。 | 6 |
| 問4. 現在、貴社では何かボランティア活動に取り組まれていますか。 .. | 7 |
| 問5. 貴社がボランティア活動に取り組むようになった理由、取り組もうとする理由は何ですか。 | 8 |
| 問6. 貴社が行っている主なボランティア活動の内容を教えてください。現在実施しているもの、過去実施していたもの、今後予定しているものも含まれます。 9 | |
| 問7. ボランティア活動に取り組んだ結果として得られたと思う効果又は今後得られると思う効果について教えてください。 | 11 |
| 問8. 貴社がボランティア市民活動を進める上で、課題となっていることはどのようなことですか。 | 12 |
| 問9. 貴社の今後のボランティア市民活動全体の方向性について教えてください。 | 13 |
| 問10. 貴社が、現在ボランティア活動をしていない理由を教えてください。 14 | |
| 問11. 今後、自治会などの地縁団体、NPO、また社会福祉協議会や行政等と連携してボランティア市民活動を実施したいと思いますか。 | 15 |
| 問12. 団体から協力依頼があった場合、貴社はどのような支援が行えると思いますか。 | 16 |
| 問13. 貴社では災害時に、どのような活動ができると思いますか。 | 17 |
| 問14. ボランティア活動が活発に行われるためには、何が必要だと考えますか。 | 18 |
| 問15. ボランティア活動をするうえで行政に望むことがありますか。 . | 19 |
| 問16. 貴社の従業員が、自発的にボランティア市民活動を行う場合、社内でその活動を支援するような制度や仕組みはありますか。 | 20 |
| 問17. もし、市が企業の「ボランティア市民活動」に関する制度（表彰制度や優遇制度など）を創設した場合、企業のボランティア活動の推進につながると思いますか。 | 20 |
| 問18. 四国中央市には、ボランティア活動を支援する施設として四国中央市ボランティア市民活動センターがあることを知っていますか。 | 21 |
| 問19. 四国中央市ボランティア市民活動センターを利用したことがありますか。 | 21 |
| 問20. センターを利用した目的は何ですか。 | 22 |

| | |
|---|----|
| 問 2 1. センター施設の備品・設備の充実度はいかがですか。 | 23 |
| 問 2 2. センター職員の対応は適切で迅速ですか | 23 |
| 問 2 3. センターでは、今後、どのような情報の充実が望めますか。 | 24 |
| 問 2 4. 下記のセンターの事業の中で、見た事がある、あるいは利用した事があるものを教えてください。 | 25 |
| 問 2 5. 全体的に見てセンターにどの程度満足されていますか。 | 26 |
| 問 2 6. その他、企業のボランティア市民活動の推進に関して、ご意見をお聞かせください。 | 26 |

1. 調査概要

(1) アンケートの実施方法

- ① 調査対象者：四国中央商工会議所及び土居町商工会の会員企業から無作為抽出した1,200社
- ② 配布及び回収：郵送にて配布、回収
- ③ 実施期間：平成29年10月10日～31日

(2) アンケートの有効数

- ① 実送付数：1,198件
- ② 有効回収数：295件
- ③ 有効回収率：24.6%

(3) 数値やグラフの見方

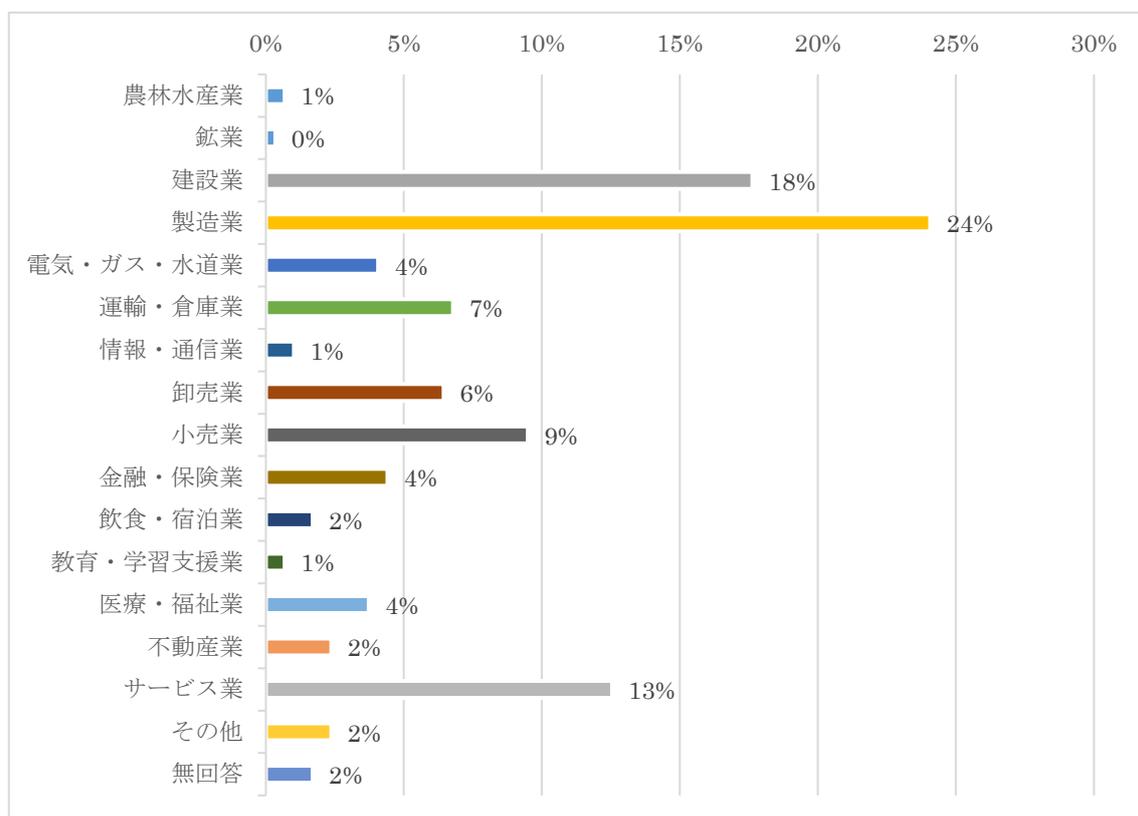
- ① 比率は百分率（パーセント）で表し、小数点以下第1位を四捨五入して算出した。そのため質問によっては各割合を合計しても100%にならない場合がある。サンプル数はnとして表記した。
- ② 複数回答が可能な質問においては、比率算出の基数はその項目を選択した回答者数（ n_1 、 n_2 …）とし、その質問の回答者数nに対して、どれだけの割合かを算出した。
- ③ 回答の選択肢などは、省略して表示しているものがある。

2. 調査結果

問1. 貴社の業種を教えてください。

「製造業」が24%で最も多く、次いで「建設業」が18%、「サービス業」が13%となりました。

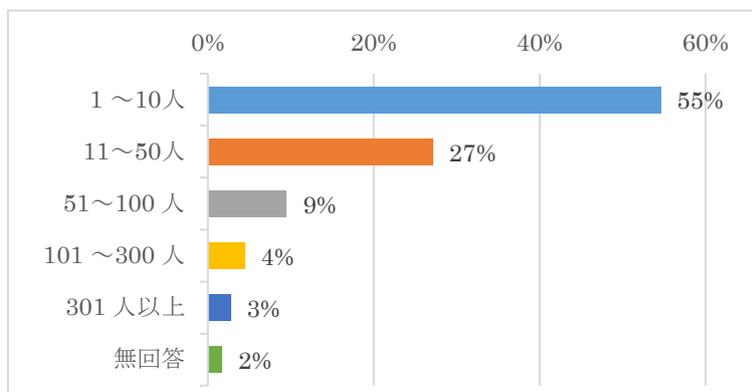
| 項目 | 回答数 | 項目 | 回答数 | 項目 | 回答数 |
|--------|-----|-----------|-----|----------|-----|
| 農林水産業 | 2 | 鉱業 | 1 | 建設業 | 52 |
| 製造業 | 71 | 電気・ガス・水道業 | 12 | 運輸・倉庫業 | 20 |
| 情報・通信業 | 3 | 卸売業 | 19 | 小売業 | 28 |
| 金融・保険業 | 13 | 飲食・宿泊業 | 5 | 教育・学習支援業 | 2 |
| 医療・福祉業 | 11 | 不動産業 | 7 | サービス業 | 37 |
| その他 | 7 | 無回答 | 5 | 合計 | 295 |



問2. 貴社の従業員数を教えてください。

従業員数について、「1～10人」が55%で最も多く、「11～50人」が27%、「51～100人」が9%と続きました。回答した企業の9割が1～100人の従業員規模である結果となりました。

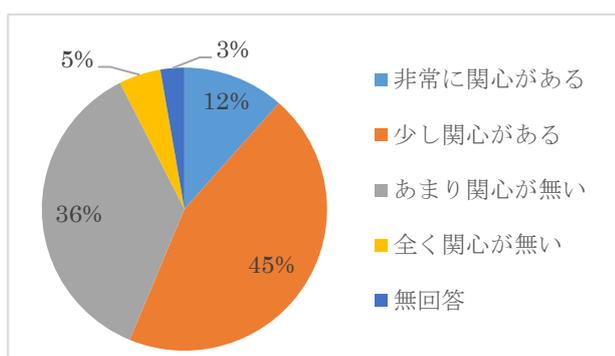
| 項目 | 回答数 |
|----------|-----|
| 1～10人 | 161 |
| 11～50人 | 80 |
| 51～100人 | 28 |
| 101～300人 | 13 |
| 301人以上 | 8 |
| 無回答 | 5 |
| 合計 | 295 |



問3. 貴社はボランティア活動への参加や実施に関心がありますか。

ボランティア活動への参加や実施について、「非常に関心がある」と「少し関心がある」との回答を合わせると約6割（57%）となり、半数を超える企業がボランティア活動に関心がある状況となっています。

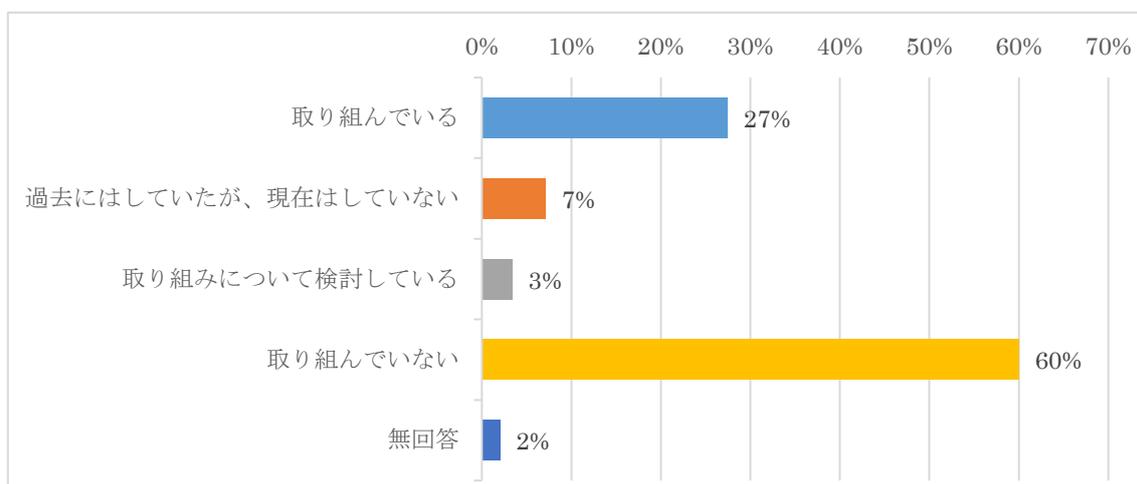
| 項目 | 回答数 |
|----------|-----|
| 非常に関心がある | 34 |
| 少し関心がある | 132 |
| あまり関心が無い | 107 |
| 全く関心が無い | 14 |
| 無回答 | 8 |
| 合計 | 295 |



問4. 現在、貴社では何かボランティア活動に取り組まれていますか。

現在の取り組みについて、「取り組んでいない」との回答が60%となりましたが、「取り組んでいる」「過去にはしていたが、現在はしていない」「取り組みについて検討している」を合わせると37%となるなど、約4割の企業が活動に対して前向きな結果となりました。

| 項目 | 回答数 |
|--------------------|-----|
| 取り組んでいる | 81 |
| 過去にはしていたが、現在はしていない | 21 |
| 取り組みについて検討している | 10 |
| 取り組んでいない | 177 |
| 無回答 | 6 |
| 合計 | 295 |

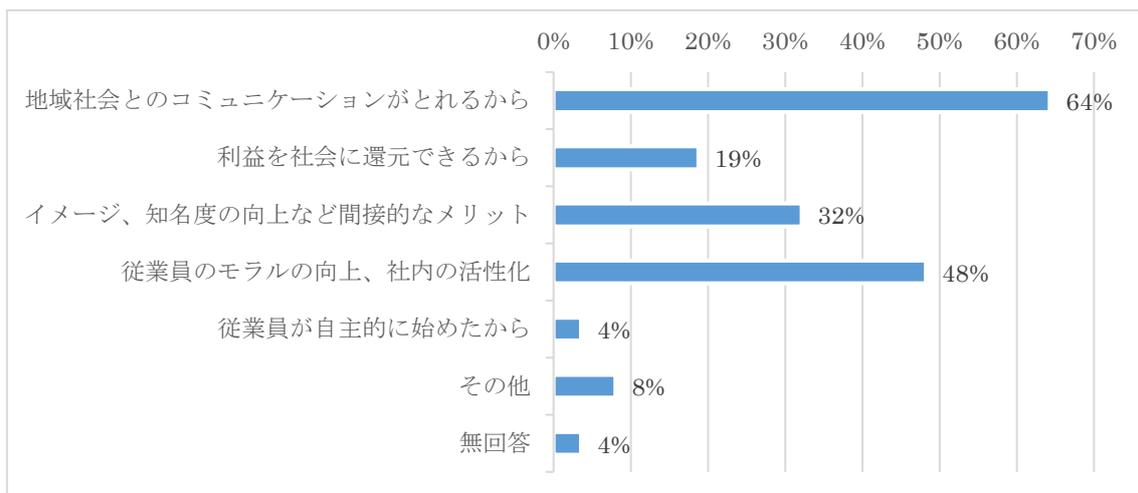


問5. 貴社がボランティア活動に取り組むようになった理由、取り組もうとする理由は何ですか（複数回答可）。

[問5～問9は問4で「取り組んでいる」「過去にはしていたが、現在はしていない」「取り組みについて検討している」と回答した企業（n=112）のみ回答]

ボランティア活動の理由について、「地域社会とのコミュニケーションがとれるから」との回答が最も多く、64%となりました。また「従業員のモラルの向上、社内の活性化が期待できるから」との回答が約半数(48%)となりました。

| 項目 | 回答数 |
|------------------------------|-----|
| 地域社会とのコミュニケーションがとれるから | 72 |
| 利益を社会に還元できるから | 21 |
| 企業イメージ、知名度の向上など間接的なメリットがあるから | 36 |
| 従業員のモラルの向上、社内の活性化が期待できるから | 54 |
| 従業員が自主的に始めたから | 4 |
| その他 | 9 |
| 無回答 | 4 |



【その他の回答（抜粋）】

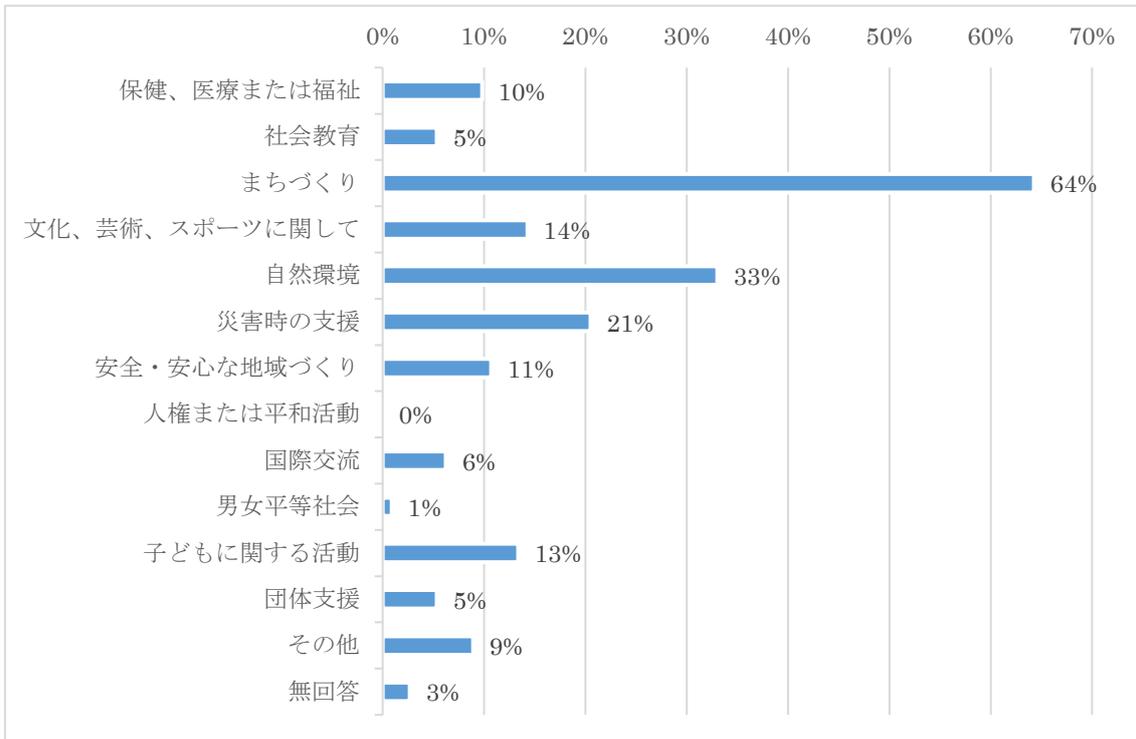
- ・ I S O活動 ・つきあい ・地域貢献のため ・組合で実施している
- ・ 全社で実施している など

問6. 貴社が行っている主なボランティア活動の内容を教えてください。現在実施しているもの、過去実施していたもの、今後予定しているものも含みます（複数回答可）。

[問5～問9は問4で「取り組んでいる」「過去にはしていたが、現在はしていない」「取り組みについて検討している」と回答した企業（n=112）のみ回答]

ボランティア活動の内容について、「住みよい魅力あるまちづくりをしていく活動（例 地域清掃活動など）」との回答が最も多く、64%となりました。また少数（5%）ではありますが、「活動を行う団体の運営または活動に関して助言又は援助する活動」という回答も見られました。

| 項目 | 回答数 |
|----------------------------------|-----|
| 保健、医療または福祉に関する活動 | 11 |
| 社会教育（学校以外で行われる教育）に関する活動 | 6 |
| 住みよい魅力あるまちづくりをしていく活動 | 72 |
| 文化、芸術またはスポーツに関する活動 | 16 |
| 自然環境を良い状態にしたり、保ったりする活動 | 37 |
| 災害時の支援活動 | 23 |
| 安全・安心な地域を実現するための活動 | 12 |
| 人権の擁護または平和のための活動 | 0 |
| 国際交流・協力に関する活動 | 7 |
| 男女が平等である社会をつくるための活動 | 1 |
| 子どもが健やかに生まれ育つための活動 | 15 |
| 上記の活動を行う団体の運営または活動に関して助言又は援助する活動 | 6 |
| その他 | 10 |
| 無回答 | 3 |



【その他の回答（抜粋）】

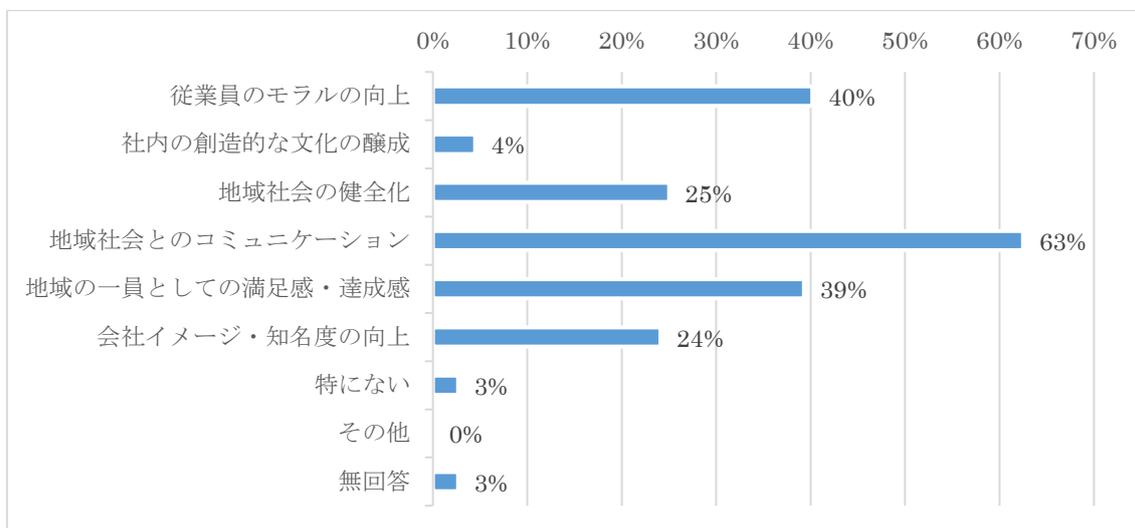
- ・土手の草刈り
- ・海水浴場のゴミ拾い
- ・愛ロード及び愛リバー
- ・自社周辺の道路清掃
- ・老人施設への慰問
- など

問7. ボランティア活動に取り組んだ結果として得られたと思う効果又は今後得られると思う効果について教えてください（複数回答可）。

〔問5～問9は問4で「取り組んでいる」「過去にはしていたが、現在はしていない」「取り組みについて検討している」と回答した企業（n=112）のみ回答〕

取り組みの効果について、「地域社会とのコミュニケーション」との回答が63%で最も多くなり、次いで「従業員のモラルの向上」（40%）、「地域の一員としての満足感・達成感」（39%）となりました。半数を超える企業から、ボランティア活動は地域との連携強化において有効であると認識もしくは期待されている状況となっています。

| 項目 | 回答数 |
|------------------|-----|
| 従業員のモラルの向上 | 45 |
| 社内の創造的な文化の醸成 | 5 |
| 地域社会の健全化 | 28 |
| 地域社会とのコミュニケーション | 70 |
| 地域の一員としての満足感・達成感 | 44 |
| 会社イメージ・知名度の向上 | 27 |
| 特にない | 3 |
| その他 | 0 |
| 無回答 | 3 |

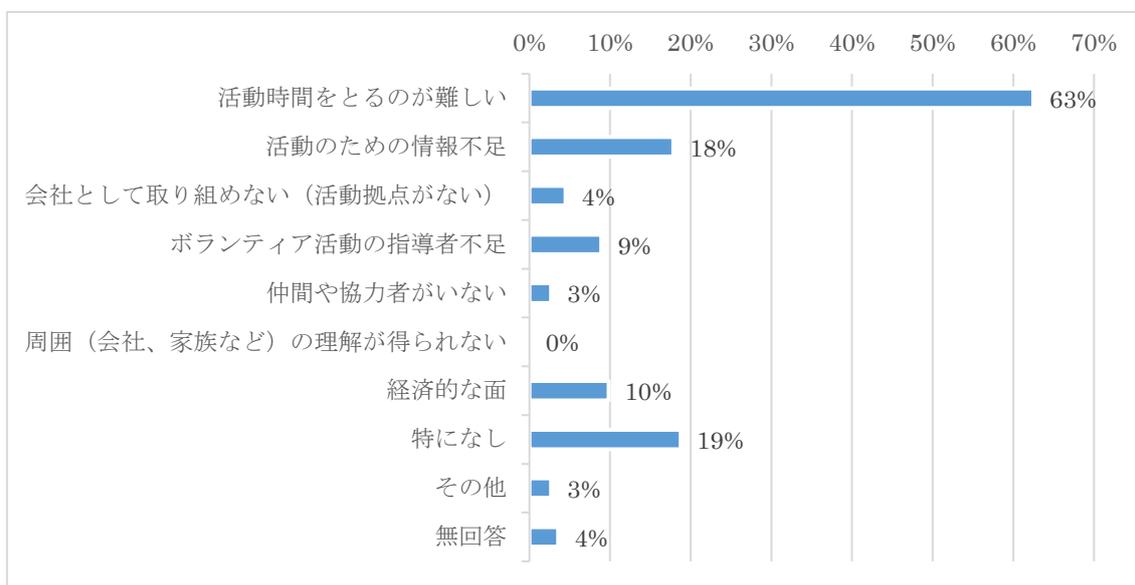


問8. 貴社がボランティア市民活動を進める上で、課題となっていることはどのようなことですか（複数回答可）。

[問5～問9は問4で「取り組んでいる」「過去にはしていたが、現在はしていない」「取り組みについて検討している」と回答した企業（n=112）のみ回答]

活動上での課題について、「活動時間をとるのが難しい」との回答が63%となり、最も多い回答となりました。それ以外の項目については20%未満の回答となっています。

| 項目 | 回答数 |
|----------------------|-----|
| 活動時間をとるのが難しい | 70 |
| 活動のための情報不足 | 20 |
| 会社として取り組めない（活動拠点が無い） | 5 |
| ボランティア活動の指導者不足 | 10 |
| 仲間や協力者がいない | 3 |
| 周囲（会社、家族など）の理解が得られない | 0 |
| 経済的な面 | 11 |
| 特になし | 21 |
| その他 | 3 |
| 無回答 | 4 |



【その他の回答（抜粋）】

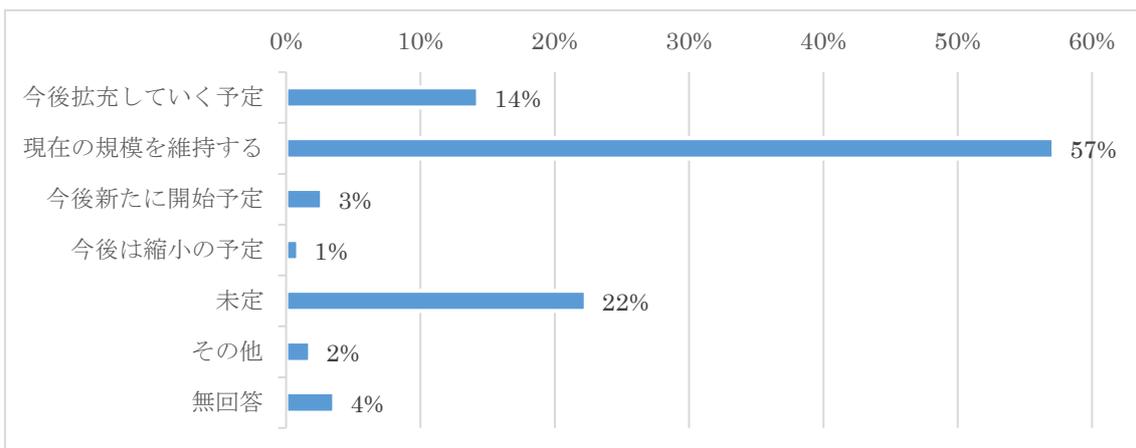
- ・社員不足
- ・詳しくは担当者がやめてしまった
- ・従業員の理解
- など

**問9. 貴社の今後のボランティア市民活動全体の方向性について教えてください
(複数回答可)。**

[問5～問9は問4で「取り組んでいる」「過去にはしていたが、現在はしていない」「取り組みについて検討している」と回答した企業 (n=112) のみ回答]

今後の活動の方向性について、「現在の規模を維持する」との回答が最も多く約6割(57%)となり、「今後拡充していく予定」との回答が14%となりました。

| 項目 | 回答数 |
|------------|-----|
| 今後拡充していく予定 | 16 |
| 現在の規模を維持する | 64 |
| 今後新たに開始予定 | 3 |
| 今後は縮小の予定 | 1 |
| 未定 | 25 |
| その他 | 2 |
| 無回答 | 4 |

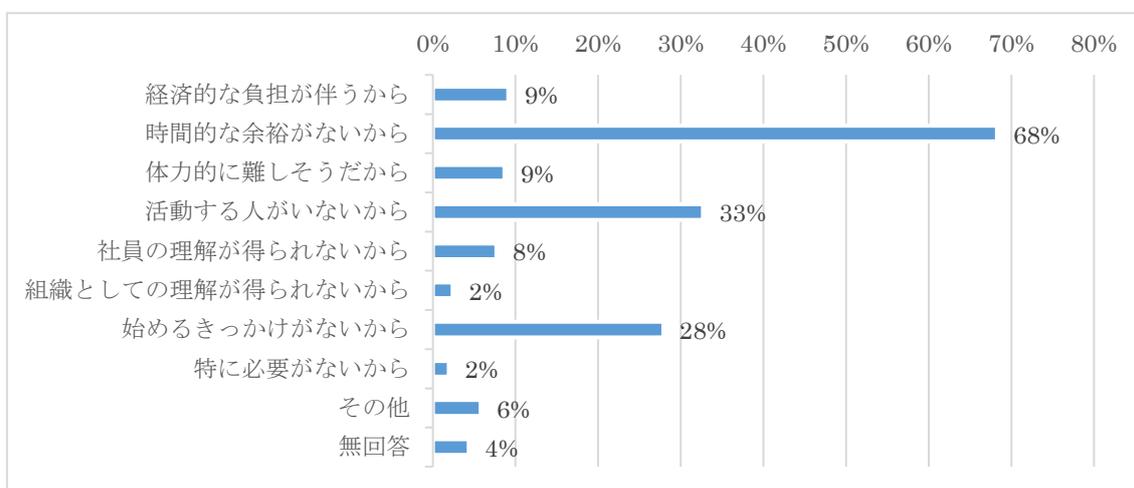


問10. 貴社が、現在ボランティア活動をしていない理由を教えてください（複数回答可）。

[問4で「過去にはしていたが、現在はしていない」「取り組みについて検討している」「取り組んでいない」と回答した企業（n=208）のみ回答]

活動をしていない理由について、「時間的な余裕がないから」との回答が約7割（68%）と最も多くなりました。問8「貴社がボランティア市民活動を進める上で、課題となっていることはどのようなことですか。」と同様、活動時間の確保が課題との結果となりました。

| 項目 | 回答数 |
|------------------|-----|
| 経済的な負担が伴うから | 19 |
| 時間的な余裕がないから | 142 |
| 体力的に難しそうだから | 18 |
| 活動する人がいないから | 68 |
| 社員の理解が得られないから | 16 |
| 組織としての理解が得られないから | 5 |
| 始めるきっかけがないから | 58 |
| 特に必要がないから | 4 |
| その他 | 12 |
| 無回答 | 9 |



【その他の回答（抜粋）】

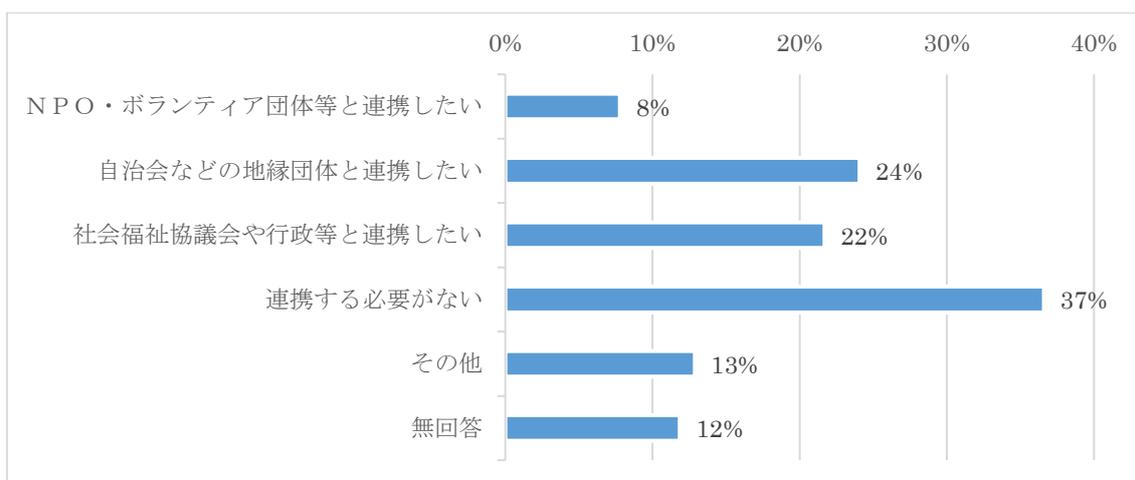
- ・従業員の高齢化
- ・考えたことがなかった
- ・ボランティアの情報がない
- ・業績改善が優先
- など

問11. 今後、自治会などの地縁団体、NPO、また社会福祉協議会や行政等と連携してボランティア市民活動を実施したいと思いますか（複数回答可）。

[問11～問18は全ての企業（n=295）が回答]

今後の活動の連携について、「連携する必要がない」との回答が37%と最も多くなりましたが、社会福祉協議会や行政等、または自治会などの地縁団体と連携したいと思っている企業がそれぞれ2割を超える結果となりました。具体的な連携内容としては、「自治会活動と協力したい」「地域の活性化のためなら」「自治会機能強化のために」との回答がありました。

| 項目 | 回答数 |
|---------------------|-----|
| NPO・ボランティア団体等と連携したい | 23 |
| 自治会などの地縁団体と連携したい | 71 |
| 社会福祉協議会や行政等と連携したい | 64 |
| 連携する必要がない | 108 |
| その他 | 38 |
| 無回答 | 35 |



【具体的な連携内容（抜粋）】

- ・地域清掃活動 ・ビーチクリーン ・地域活性化 ・自治会への協力
- ・地域内ネットワークづくり ・手話教室 ・自治会機能強化の為 など

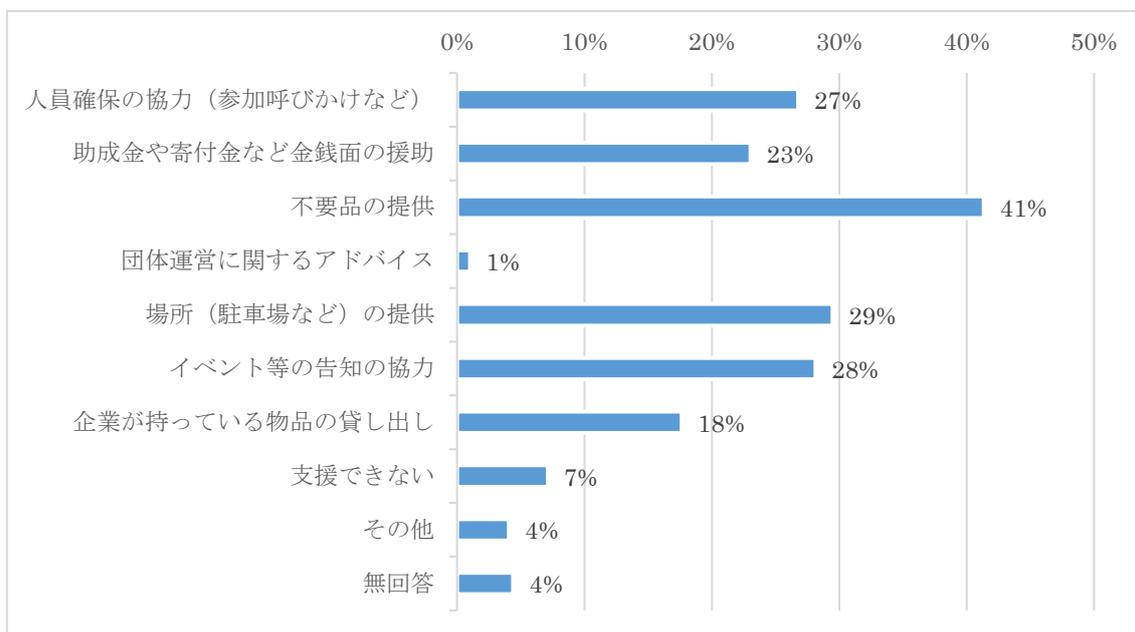
【その他の回答（抜粋）】

- ・内容による ・伊予三島ライオンズクラブとして実施している
- ・奉仕団体を通じて活動している など

問12. 団体から協力依頼があった場合、貴社はどのような支援が行えると思いますか（複数回答可）。

支援協力について、「不要品の提供」との回答が41%と最も多くなりました。また、「場所（駐車場など）の提供」「イベント等の告知の協力」「人員確保の協力（参加呼びかけなど）」との回答がそれぞれ約3割となりました。

| 項目 | 回答数 |
|-------------------|-----|
| 人員確保の協力（参加呼びかけなど） | 79 |
| 助成金や寄付金など金銭面の援助 | 68 |
| 不要品の提供 | 122 |
| 団体運営に関するアドバイス | 3 |
| 場所（駐車場など）の提供 | 87 |
| イベント等の告知の協力 | 83 |
| 企業が持っている物品の貸し出し | 52 |
| 支援できない | 21 |
| その他 | 12 |
| 無回答 | 13 |



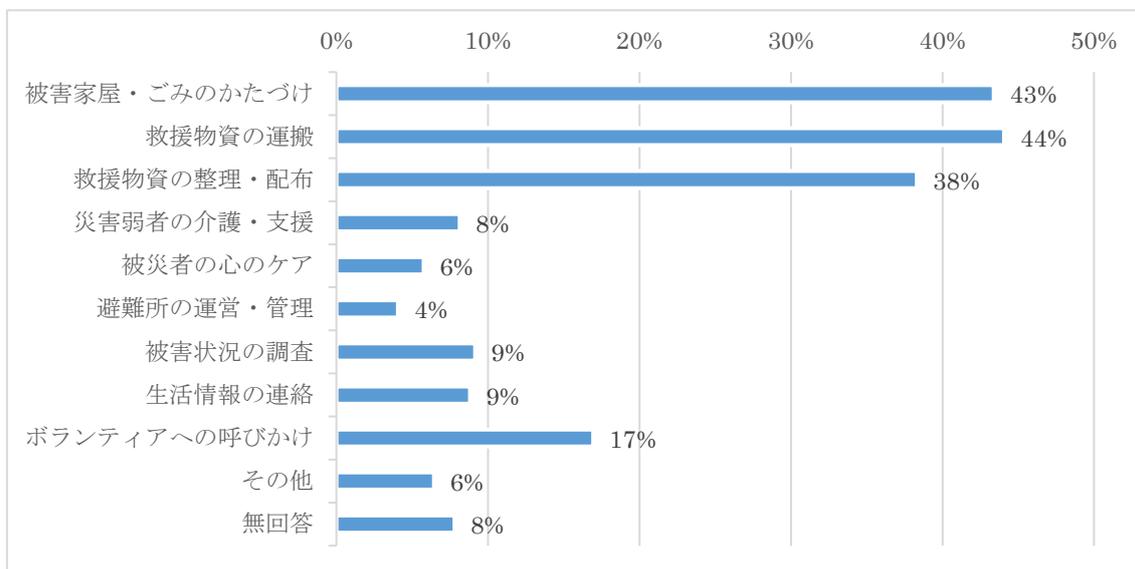
【その他の回答（抜粋）】

- ・キャリアコンサルタント等の人材育成のサポート
- ・内容次第 など

問13. 貴社では災害時に、どのような活動ができると思いますか（複数回答可）。

災害時の活動について、「救援物資の運搬」が44%で最も多く、「被害家屋・ごみのかたづけ」「救援物資の整理・配布」についてもそれぞれ約4割となり、多くの企業が災害時には協力したいと考えている状況となっています。

| 項目 | 回答数 |
|--------------|-----|
| 被害家屋・ごみのかたづけ | 128 |
| 救援物資の運搬 | 130 |
| 救援物資の整理・配布 | 113 |
| 災害弱者の介護・支援 | 24 |
| 被災者の心のケア | 17 |
| 避難所の運営・管理 | 12 |
| 被害状況の調査 | 27 |
| 生活情報の連絡 | 26 |
| ボランティアへの呼びかけ | 50 |
| その他 | 19 |
| 無回答 | 23 |



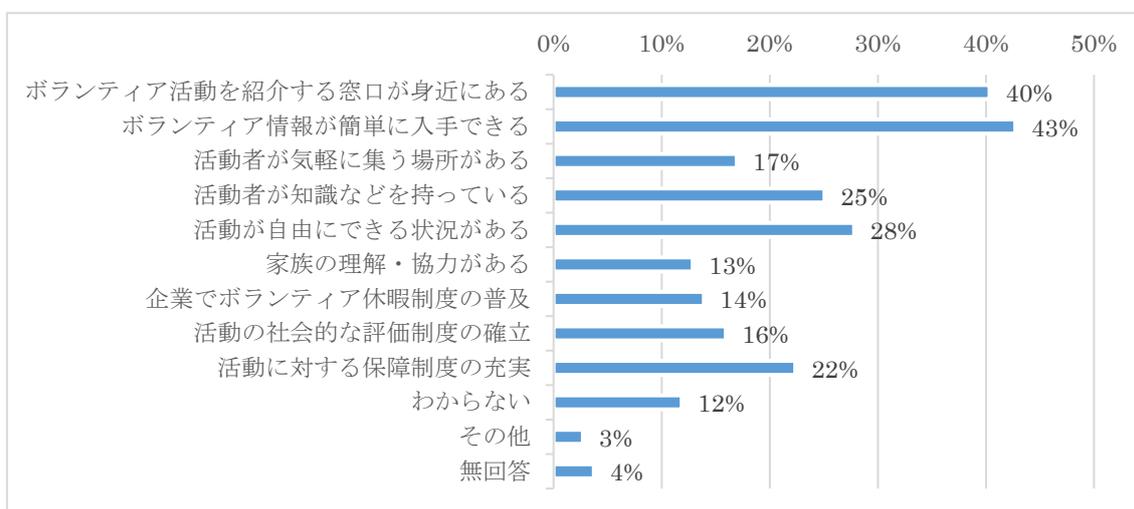
【その他の回答（抜粋）】

- ・食料品の提供 ・飲料水の保管 ・必要物資の提供 ・場所の提供
- ・物品の貸し出し ・化粧品の提供 など

問14. ボランティア活動が活発に行われるためには、何が必要だと考えますか（複数回答可）。

ボランティア活動を活発化するために必要なことについて、最も多かった回答が「ボランティア活動を紹介する情報が簡単に入手できる」の43%となり、次に「ボランティア活動を紹介する窓口が身近にある」との回答が40%となりました。

| 項目 | 回答数 |
|-----------------------------|-----|
| ボランティア活動を紹介する窓口が身近にある | 119 |
| ボランティア活動を紹介する情報が簡単に入手できる | 126 |
| ボランティア活動をする人達が気軽に集う場所がある | 50 |
| ボランティア活動をする人が知識・技術・経験を持っている | 74 |
| ボランティア活動がいつでも自由にできる状況がある | 82 |
| ボランティア活動に対する家族の理解・協力がある | 38 |
| 企業でのボランティア休暇制度の普及 | 41 |
| ボランティア活動に対する社会的な評価制度の確立 | 47 |
| 活動に対する保障制度の充実 | 66 |
| わからない | 35 |
| その他 | 8 |
| 無回答 | 11 |



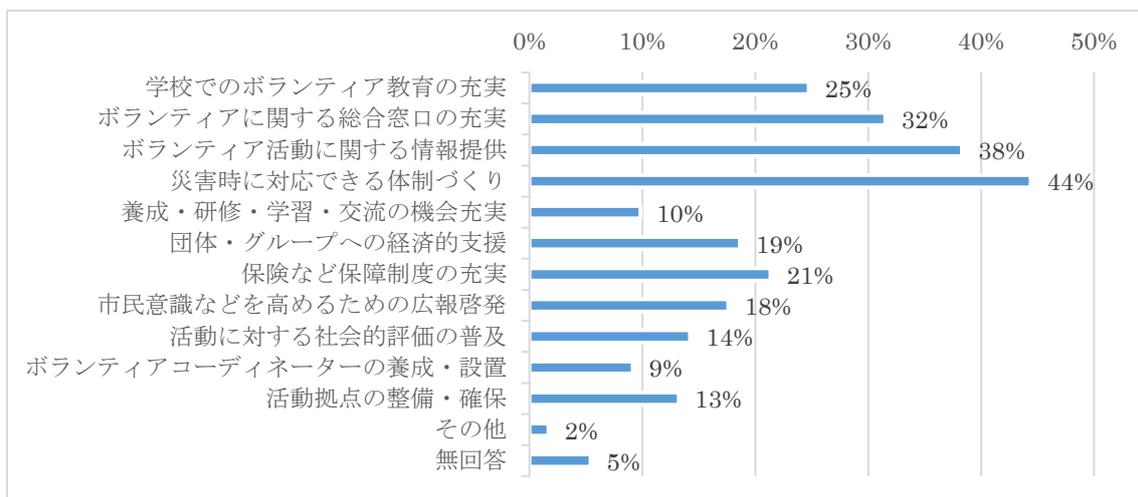
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 窓口を運営する土台とリーダー ・ 1人1人のやりがいを考えるセミナー
- ・ 企業の理解 ・ 資金と信念 ・ 人材確保 など

問15. ボランティア活動をするうえで行政に望むことがありますか（複数回答可）。

活動において行政に望むことについて、「災害時に対応できる体制づくり」との回答が最も多く44%で、「ボランティア活動に関する情報提供」との回答が38%となりました。平時においても、災害時においても、ボランティア活動に関する体制等が機能できることが求められている結果となりました。

| 項目 | 回答数 |
|----------------------|-----|
| 学校でのボランティア教育の充実 | 73 |
| ボランティアに関する総合窓口の充実 | 93 |
| ボランティア活動に関する情報提供 | 113 |
| 災害時に対応できる体制づくり | 131 |
| 養成・研修・学習・交流の機会充実 | 29 |
| 団体・グループへの経済的支援 | 55 |
| 保険など保障制度の充実 | 63 |
| 市民意識などを高めるための広報啓発 | 52 |
| 活動に対する社会的評価の普及 | 42 |
| ボランティアコーディネーターの養成・設置 | 27 |
| 活動拠点の整備・確保 | 39 |
| その他 | 5 |
| 無回答 | 16 |



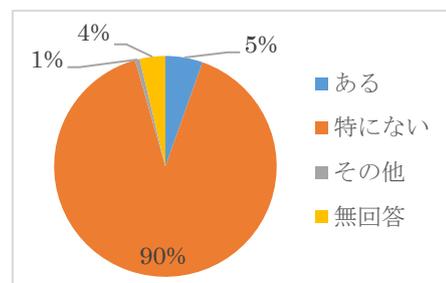
【その他の回答（抜粋）】

- ・場所の提供
- ・行政の人をもっと参加してほしい
- など

問16. 貴社の従業員が、自発的にボランティア市民活動を行う場合、社内でその活動を支援するような制度や仕組みはありますか。

活動の支援制度について、9割の企業が「特にない」との回答でしたが、「ある」と答えた企業においては「ボランティア休暇制度」「物品の貸し出し」「社内の顕彰制度」「活動中の給与支給」などの制度があることがわかりました。

| 項目 | 回答数 |
|------|-----|
| ある | 16 |
| 特にない | 266 |
| その他 | 2 |
| 無回答 | 11 |
| 合計 | 295 |



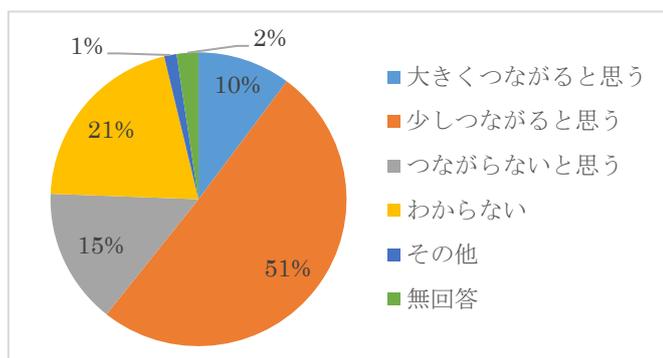
【具体的な制度（抜粋）】

- ・ ボランティア休暇 ・ 場所の提供 ・ 献血活動支援 ・ 勤務時間内で実施
- ・ 活動に対する表彰制度 など

問17. もし、市が企業の「ボランティア市民活動」に関する制度（表彰制度や優遇制度など）を創設した場合、企業のボランティア活動の推進につながると思われますか。

「大きくつながると思う」「少しつながると思う」を合わせると約6割（61%）となり、半数以上の企業は企業ボランティアに関する制度の充実がボランティア活動の推進につながると考えている状況となっています。

| 項目 | 回答数 |
|------------|-----|
| 大きくつながると思う | 30 |
| 少しつながると思う | 149 |
| つながらないと思う | 44 |
| わからない | 61 |
| その他 | 4 |
| 無回答 | 7 |
| 合計 | 295 |



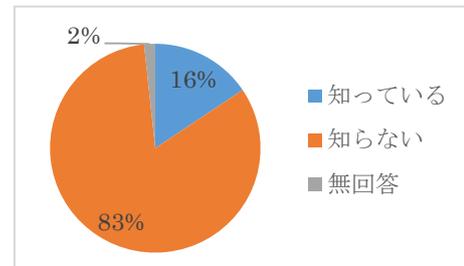
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 表彰を期待するようでは駄目 ・ 優遇制度の内容による など

問18. 四国中央市には、ボランティア活動を支援する施設として四国中央市ボランティア市民活動センターがあることを知っていますか。

「知っている」との回答は16%にとどまり、センターの認知度は低い結果となりました。

| 項目 | 回答数 |
|-------|-----|
| 知っている | 46 |
| 知らない | 244 |
| 無回答 | 5 |
| 合計 | 295 |

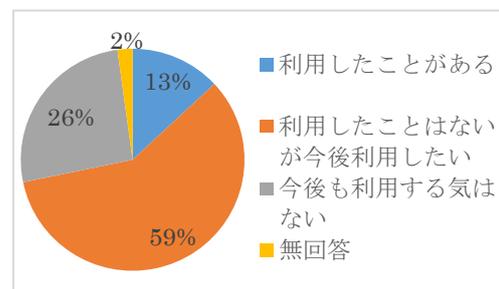


問19. 四国中央市ボランティア市民活動センターを利用したことがありますか。

[問18で「知っている」と回答した企業 (n=46) のみ回答]

センターの利用経験について、「利用した事がある」との回答は約1割にとどまりましたが、「利用した事はないが今後利用したい」との回答が約6割となりました。

| 項目 | 回答数 |
|------------------|-----|
| 利用した事がある | 6 |
| 利用した事はないが今後利用したい | 27 |
| 今後も利用する気はない | 12 |
| 無回答 | 1 |
| 合計 | 46 |

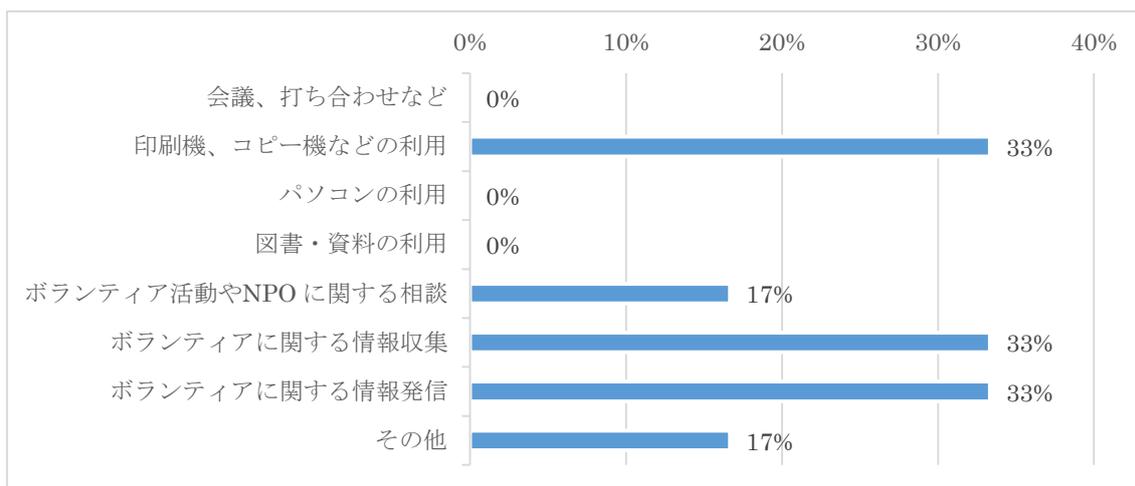


問20. センターを利用した目的は何ですか（複数回答可）。

[問19で「利用した事がある」と回答した企業（n=6）のみ回答]

センターを利用した目的については、「印刷機、コピー機などの利用」「ボランティアに関する情報収集」「ボランティアに関する情報発信」との回答がそれぞれ33%となりました。

| 項目 | 回答数 |
|--------------------|-----|
| 会議、打ち合わせなど | 0 |
| 印刷機、コピー機などの利用 | 2 |
| パソコンの利用 | 0 |
| 図書・資料の利用 | 0 |
| ボランティア活動やNPOに関する相談 | 1 |
| ボランティアに関する情報収集 | 2 |
| ボランティアに関する情報発信 | 2 |
| その他 | 1 |

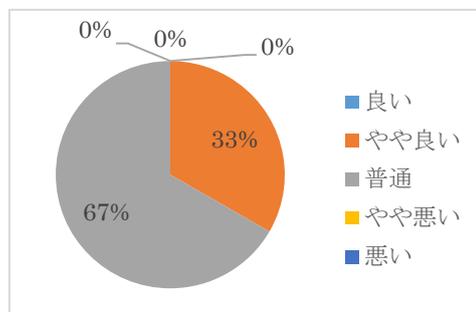


問 2 1. センター施設の備品・設備の充実度はいかがですか。

[問 1 9 で「利用した事がある」と回答した企業 (n=6) のみ回答]

センター施設の充実度については、「やや良い」「普通」が占め、利用した企業からの評価は概ね良好な結果となりました。

| 項目 | 回答数 |
|------|-----|
| 良い | 0 |
| やや良い | 2 |
| 普通 | 4 |
| やや悪い | 0 |
| 悪い | 0 |
| 合計 | 6 |

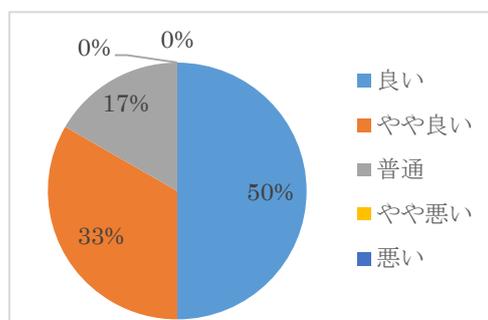


問 2 2. センター職員の対応は適切で迅速ですか

[問 1 9 で「利用した事がある」と回答した企業 (n=6) のみ回答]

センター職員の対応については、「良い」「やや良い」を合わせると、利用した企業の約 8 割 (83%) から良好な評価を得た結果となりました。

| 項目 | 回答数 |
|------|-----|
| 良い | 3 |
| やや良い | 2 |
| 普通 | 1 |
| やや悪い | 0 |
| 悪い | 0 |
| 合計 | 6 |

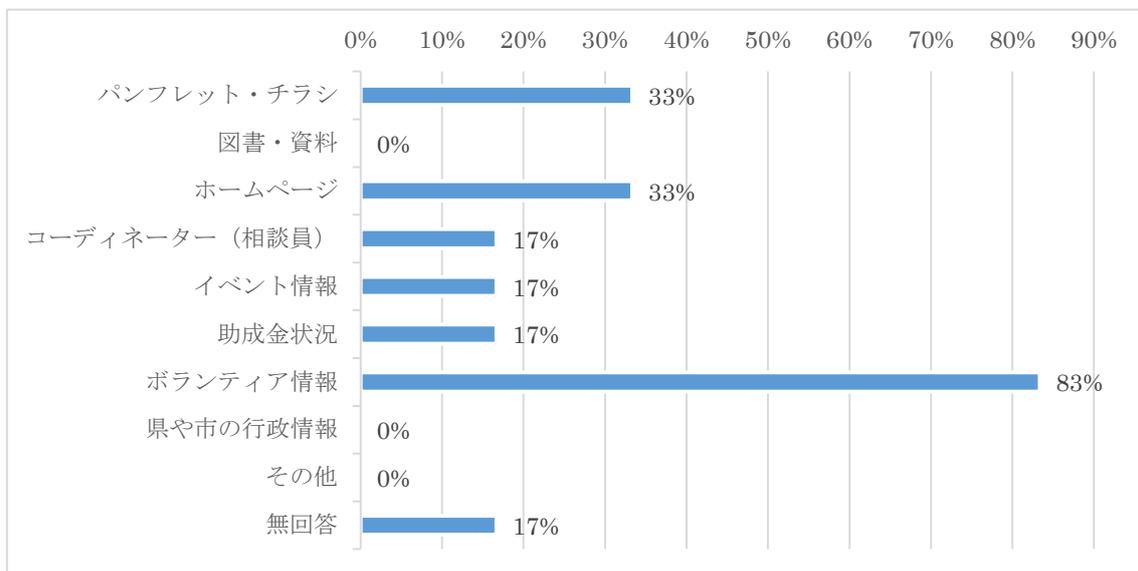


問23. センターでは、今後、どのような情報の充実が望めますか（複数回答可）。

[問19で「利用した事がある」と回答した企業（n=6）のみ回答]

センターに望む情報については、「ボランティア情報」と回答した企業が8割を超えており（83%）、センターにおいてボランティア情報の窓口としての機能がより一層求められている状況となっています。

| 項目 | 回答数 |
|---------------|-----|
| パンフレット・チラシ | 2 |
| 図書・資料 | 0 |
| ホームページ | 2 |
| コーディネーター（相談員） | 1 |
| イベント情報 | 1 |
| 助成金状況 | 1 |
| ボランティア情報 | 5 |
| 県や市の行政情報 | 0 |
| その他 | 0 |
| 無回答 | 1 |

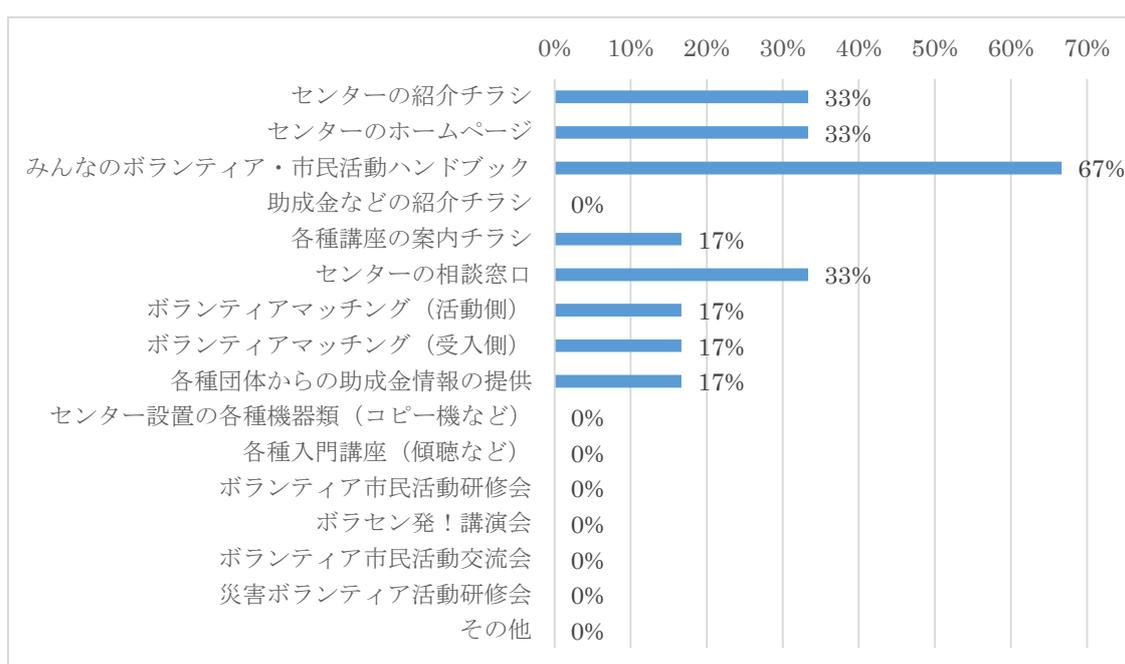


問24. 下記のセンターの事業の中で、見た事がある、あるいは利用した事があるものを教えてください（複数回答可）。

[問19で「利用した事がある」と回答した企業（n=6）のみ回答]

「みんなのボランティア・市民活動ハンドブック」との回答が67%で最も高く、続いてホームページやセンターの紹介チラシ、また相談窓口との回答が多い結果となりました。

| | | | | | |
|--|-----------|----------------------------|-----------|--------------------------|-----------|
| センターの紹介チラシ | 2件 33% | センターのホームページ | 2件 33% | みんなのボランティア・市民活動ハンドブック | 4件 67% |
| 助成金などの紹介チラシ | — | 各種講座（研修やセミナーなど）の案内チラシ | 1件 17% | センターの相談窓口（活動の相談や問い合わせなど） | 2件 33% |
| ボランティアマッチング（活動側） | 1件 17% | ボランティアマッチング（受入側） | 1件 17% | 各種団体からの助成金情報の提供 | 1件 17% |
| センター設置の各種機器類（コピー機、ロッカー、プロジェクター、パソコンなど） | — | 各種入門講座（傾聴、手話、点字、要約筆記、朗読など） | — | ボランティア市民活動研修会 | — |
| ボラセン発！講演会 | — | ボランティア市民活動交流会 | — | 災害ボランティア活動研修会 | — |
| その他 | — | | | | |

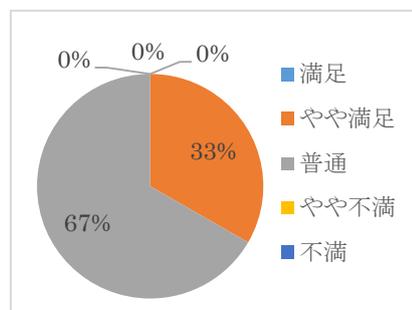


問25. 全体的に見てセンターにどの程度満足されていますか。

[問19で「利用した事がある」と回答した企業（n=6）のみ回答]

センターの満足度については、「満足」という回答はありませんでしたが、「やや満足」「普通」が全体を占めており、概ね良好な評価となりました。

| 項目 | 回答数 |
|------|-----|
| 満足 | 0 |
| やや満足 | 2 |
| 普通 | 4 |
| やや不満 | 0 |
| 不満 | 0 |
| 合計 | 6 |



問26. その他、企業のボランティア市民活動の推進に関して、ご意見をお聞かせください。

■提案

- ボランティア市民活動の推進をするために、交流会などを行い、活動に参加しやすい体制をつくった方が良くと思います。
- 今の時代、ボランティア意識は各自持っていると思う。協力を呼びかければ、皆さん助けてくださると思います。呼びかけは末端まで届いてない！
- ボランティアとは本来、利益をうまない、地域、社会貢献に対して使われる言葉だと思う。そういう意味においては、大なり小なり各企業は、ボランティア活動をしているのではないかな。その前に、行政ができることが、もっとあるのではないかな。
- この活動の主旨については全ては分からないが、企業との連携は必要と思われる。しかし、先の問いにもあったように、私自身は全く知らないことであった。まずは、周知が必要ではないかと思われる。
- 道路の草（端に生えているもの）は、市民ボランティアで行っていても良いと感じます。
- ボランティア市民活動センターの広報は十分なんですか？
- 少子高齢化が進むにつれ、ボランティア自体できる人に限りが出てくる中、もっと自由な形で参加できるシステムがあればよいと思います。それと、人件費とは別に、最小限の実費は行政として負担すべきかと考えます。
- 先ず、市職員を十分に活用すべき（ボランティアとして）。ボランティアはその次に願うべき。
- 自社周辺を定期的に清掃する活動を推進したらよいと思います。
- ボランティア市民活動センターの存在さえ知らなかった。もっと広報活動すればよいと思う。

- 企業ボランティアを推進する上で、法制度を確立し、各企業でボランティアに参加する者に不利にならない（ボランティア休暇や賃金の補償等）取組が必要と考える（長期間行う場合）。また、各企業への協力依頼、PR 等を含め、企業としてボランティアへ取組をする仕掛けづくりをぜひ行政の方々をお願いしたい。
- 企業としてボランティアに参加するためには、企業としての力（人材、資金等）がある程度確保されてこそ取り組めるものと思います。企業規模に関係なく、大企業同様の考えの基、企業とひとまとめにしての零細企業への活動を求める事は非常に難しいと思います。零細企業なりの取り組み方でもよいのではないのでしょうか。
- 各企業の代表者に参加依頼並びに社員さんにボランティア活動有、無の事前アンケート調査。
- 街を汚さないような教育が必要と思う。
- 災害時に協力できる体制が必要と思います。
- 経済的支援や助成金等の制度を設けたり（企業への）、企業への参加を促す情報発信をお願いしたい。
- 現在は、社会企業家という考え方が少しずつ広がっています。自分のスキルを活用して社会貢献しながら利益も得られるという考え方です。いろいろな考え方がありますが、当市において何が必要とされているか、何をしたらみんなが助かるのかという事に対して、はっきりとわかる答えがあればボランティアも広がると思います。
- 個人としてボランティアの協力は時間、余裕のある人たちの集りではないかと思っている。一人一人のつながりを密にしていることが大事。地域のつながり、清掃、祭りなどの行事からつながっていったらどうでしょうか。
- 口コミでの人集めが大事だと思う。誰かが誘ってあげた方が入って行きやすい。

■要望

- 当社は全員奉仕活動しています。又個人的にもボランティアをしている人もいます。行政の人は、ふるさと運動とか、奉仕をもう少し積極的に行動してもらいたいです。
- ボランティアの具体的な活動の内容を今回のアンケートでも資料を同封するなどしてほしかったと思います。
- 企業としてボランティア活動を行うには、社内での意識の醸成が必要であるが、業務に追われて、そこまでの余力がないのが実情である。
- 無理の無い範囲で参加できる環境が望ましいと思います。
- 参加できる機会があれば参加したいので、活動の機会をつくってほしい。センターと協力して企業で参加できるものがあれば紹介していただき参加したい。
- ボランティア市民活動の参加もしてみたい。人数・時間不足にてなかなか実現しない。
- 医療的ケアの必要な方や、障害児者の方の災害時の対応できる体制づくりを急いでほしい。
- 現在当社でできるボランティア活動を推進しています。四国中央市の企業のボランティアの内容等を知る機会が増えれば、自分の会社でも取り組めそうなことがあるかもしれません。
- 市報とか回覧などに詳しく説明した資料を多く出してほしい。
- 四国中央市民全員が理解できるようなボランティア活動の一連の流れについての情報提供、ネットワークの充実がほしい。

- 今回のような取り組みは初めてでしょうか？ボランティア市民活動センターがあることも知らなかったです。市民の中には、知らない方が結構多いかと思われます。市報やその他の広報手段でもっと情報公開していくことも大切ではないかと思ひます。自治体によってよく活躍しているところと、全くしていないところがあるように思われます。その差はとても大きいように思ひます。市の方から自治会のあり方等何かアドバイスしていただけたらと思ひます。
- 情報の共有が必要と思ひます。

■その他

- 時間的、精神的、金銭的に余裕がないと、企業のボランティア参加はむずかしいと思ひます。
- 人材不足において、休日やボランティア休暇を利用してコミュニティーの為にプライベートな時間をいかに活用するかは、従業員一人一人の意識改革が必要。
- ボランティア活動の重要性は十分認めますが、「ボランティア活動」だからとか、何でも「ボランティア活動」と頭に付けるのはどうかと思ひます。
- この中でいうボランティアは私にはイマイチ理解、解答しかねます。国体のボランティアは何年も前から参加を決めて楽しみにしていました。できました。参加の気持ちはあるのですが、もう体がついていけません。
- 災害時にボランティア活動するのは、あたり前の事。
- 特にボランティア活動を進んでではなく、依頼があれば参加する程度なので、意見などはなく、問 21、22、25 の答えはわからないので普通にしました！
- 当社は中学生の社会体験学習及び高校生の体験学習を受け入れています。今後とも継続して実施したいと思ひます。
- 当社は中学生の社会体験学習及び高校生（お客様を通じて）受け入れています。今後とも継続して実施したいと思ひます。
- 私は要望され、松山の大学や市民の或る文学方面の会に行つて居ります。大学の先生方との交流や様々の団体とも連絡をとり、現在も存続して楽しい活動となつています。やはり、この市との文化の相違を思ひ感じています。人間性の集いなので。
- 当社は、愛媛県損害保険代理業協会に加盟し、県下の清掃ボランティア（今年度では、6月、8月西条産業道路草刈、西条署と合同）などに参加。
- まだまだ知らない事が多いので、会報誌等を送付してもっと情報を集めたいです。
- ボランティアをしてみたいと思ひ人は多いと思ひますが、そのきっかけがなかなかないのが現状だと思ひます。もっと身近な存在になればよいと思ひます。
- 活動を行いたくても、時間等に余裕がなくできない。
- 市民規模でのボランティア活動を定着させることは、昨今の情勢や今後の状況変化にも早い段階で対応できると思われ、非常に重要な取組みだと認識しています。ただ、弊社のように、数人ほどの従業員で、平均年齢が 60 才を超える会社では、どの程度の貢献が見込めるかは不明であり、更に個々の家庭の事情を考えますと、どの程度会社が社員に協力を要請できるか、不安なところもあります。間違つても強制はできません。

- 企業を定年でリタイヤした方でも、元気な人はいっぱいいます。いろんな技術を持っている人もいるので、そういう人を紹介できればと思います。
- 川之江、伊予三島、土居の（地域の）温度差がある。
- 毎週のように地域のごみ拾いを行っています。また、地域のスポーツ、芸術活動に支援しています。
- 「ボランティア」について、全国の市町村からみて、四国中央市のボランティアの状況（資金面、活動面 etc）はどのくらいの位置にいるのか。優れているのか、平均値より下なのか？よくわからない。助成金も具体的にどれくらいどの団体に出しているのか、継続なのか。最高何年までとか決まっているのですか？
- 毎日の仕事に追われ、気にはなっているが時間的に余裕がない。
- 高齢者、障害者の方が楽しく生活できる社会になってほしい。
- 少人数の会社では、ボランティアに人員を出すことが難しい。本人の希望があれば別ですが。
- 企業のボランティア活動についてまだはっきりと理解できていないため、もう少しこれを機会に勉強してみようと思います。
- 今は考えていませんが、私個人的には行っております。しかし、企業的に考えると、従業員がどうかと思いますけど、今後いろいろと考えたいと思います。
- ボランティアは思いやり、やる気ですので、自主性に任せる。
- 営業時間が長時間に関係するので（早朝 2 時 30～午後 19 時頃まで）、2 部制の勤務体系からして、時間的に非常に難しい場合が多い。
- 大企業でないので、会社でのボランティア活動は期待できないと思う。
- 災害時のボランティア活動は重要と思うが、社員の高齢化により自社内の活動だけが実態となっている。
- 小企業の場合は難しい。
- 弊社は、本社は四国中央市にあるが、社員製造自体は他県に移っているため、県外の社員が多数のため、四国中央市まで依頼する事が困難な状態です。その分、私、または息子ができるだけボランティアに参加しております。
- 今後、個人も企業も社会の中で必要とされる活動を、ボランティアとして参加するのを感じています。
- 企業としてボランティアを推進する場合、強制的にならないか、個人の希望と言ったところで、会社が行うものとするれば本人の意志とは異なる活動になるのではないか。もちろん団体として大きな力になるとは思いますが…。
- 今後の充実、発展に期待しております。
- 介護の現場は人手不足もあり、ボランティアへの参加は会社としては難しいと思います。福祉の会社としては参加して、ボランティアに来てほしい状況です。
- グループをつくって、廃品回収を月一で行っていますが、仲間が時間がなくて大変です。
- 行政からの要請があれば可能な場合、協力させていただきます。
- 災害の時は協力します。
- 具体的に要請があれば、協力はしたいと考えています。